

下階の屋根に沿う樋（はい樋）の入力方法【屋根伏図】

文書管理番号：1152-02

Q. 質問

はい樋を配置したい。

2階の縦樋から1階の軒樋まで、下屋に沿ってはい樋を入力したい。

A. 回答

下屋の上を這うように設置するはい樋は、屋根伏図で屋根化粧材の「呼び樋手動配置」「呼び樋自動配置」を使用して配置します。

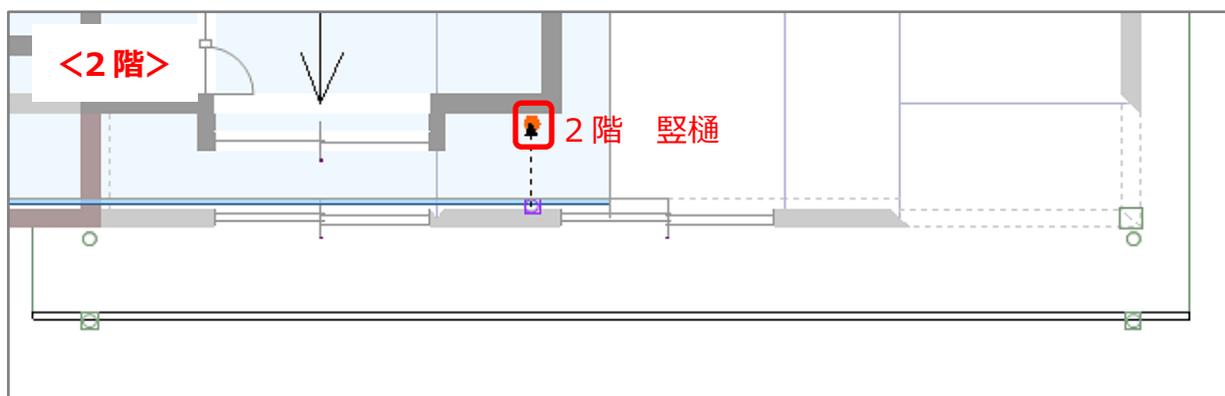
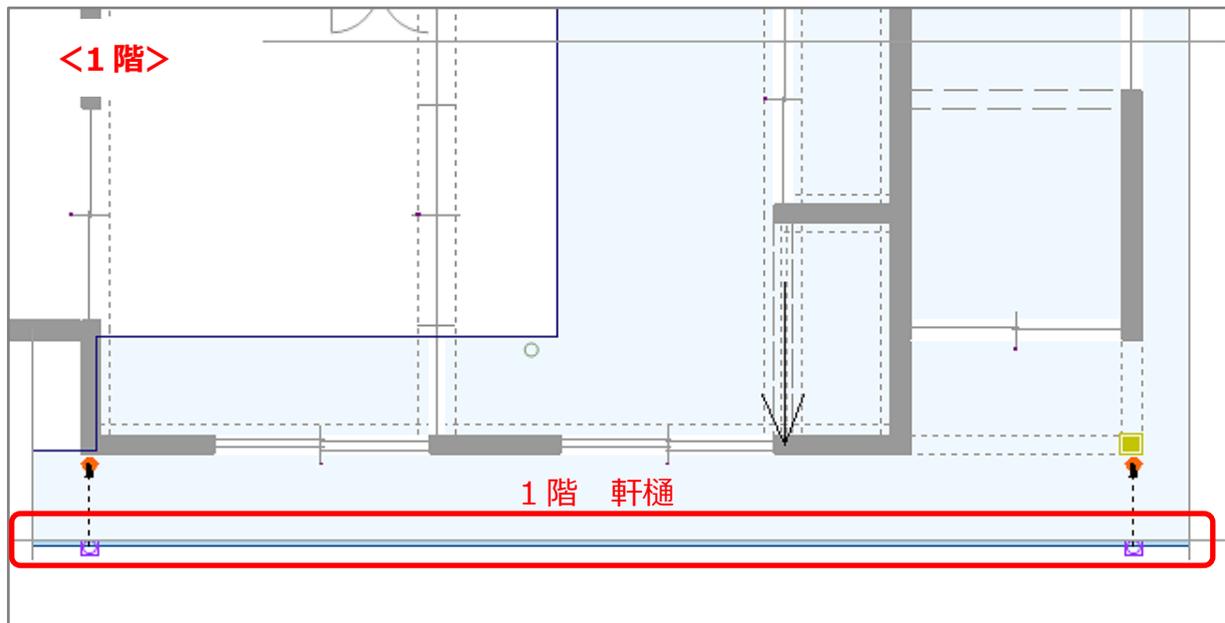
ここでは、2階に配置した縦樋から1階屋根に、はい樋を手動配置する方法を説明します。



はい樋以外の樋を配置している状態からの操作手順となりますので、はい樋でつながる1階の軒樋と2階の豎樋は、あらかじめ入力しておいてください。

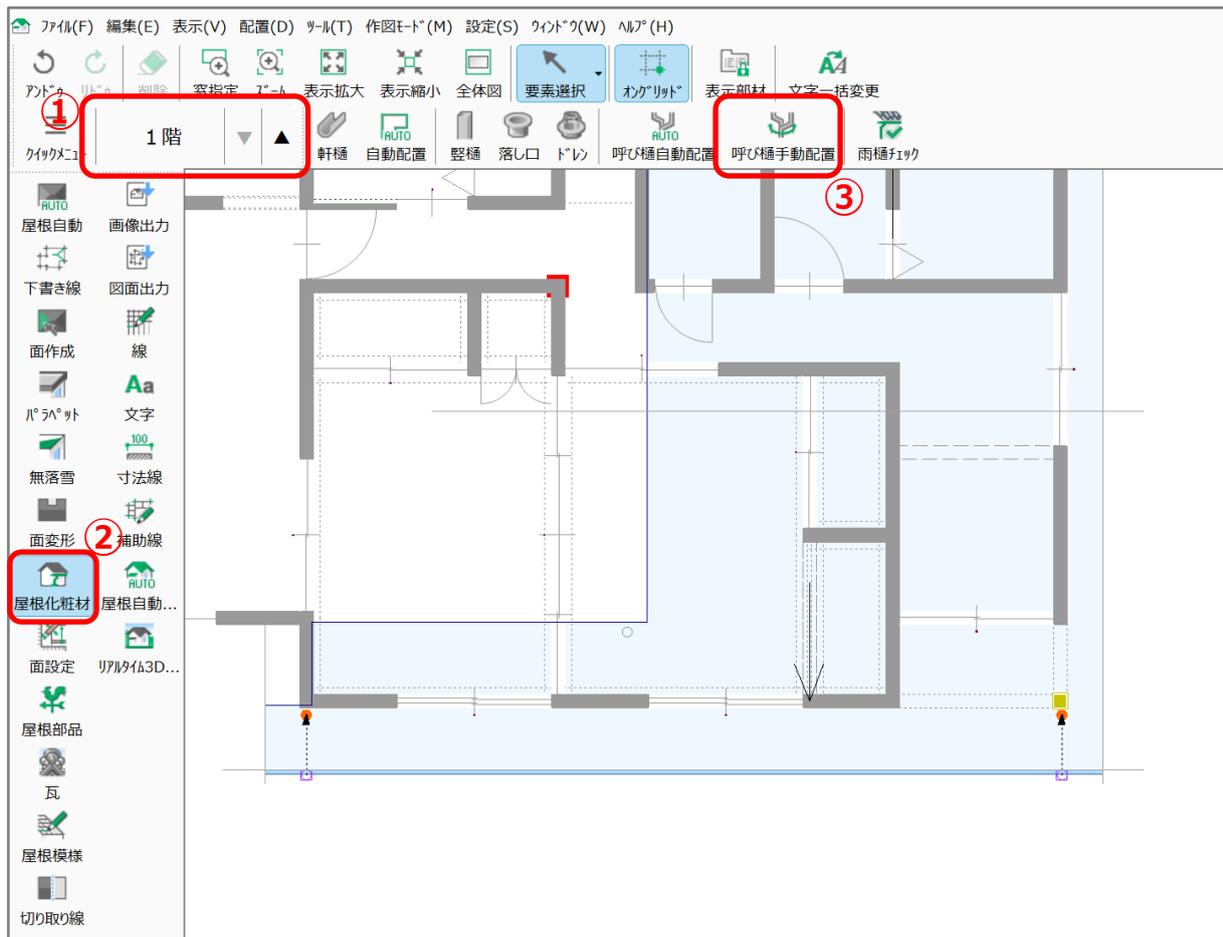
軒樋と豎樋の配置方法については、こちらをご覧ください。

[\[1280\] 軒樋・豎樋を配置する方法【屋根伏図】](#)

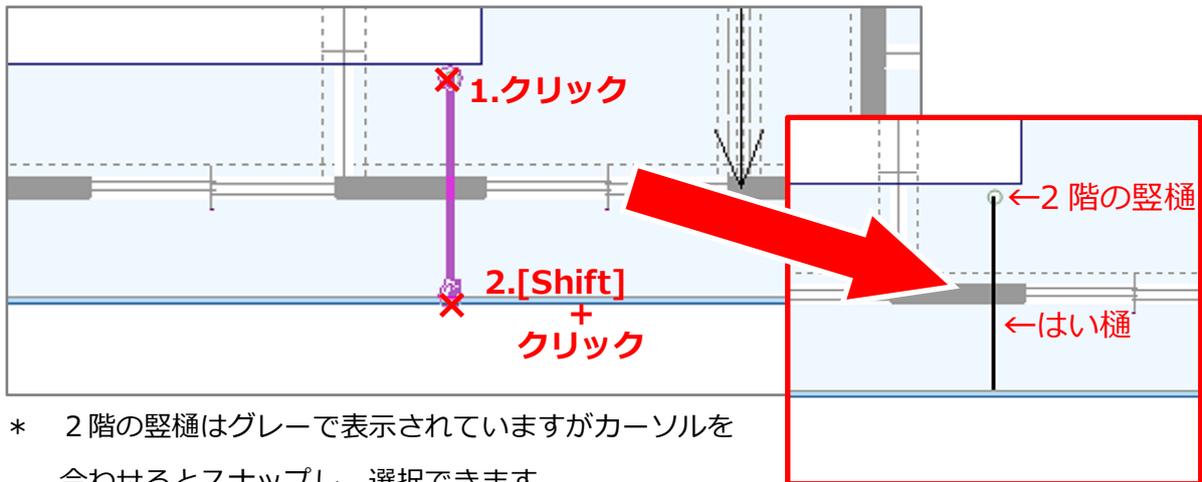


操作手順

- ① (屋根伏図)で1階を表示
- ② (屋根化粧材)をクリック
- ③ (呼び樋手動配置)をクリック



④ 2階の縦樋をクリックし、1階の軒樋上をクリック

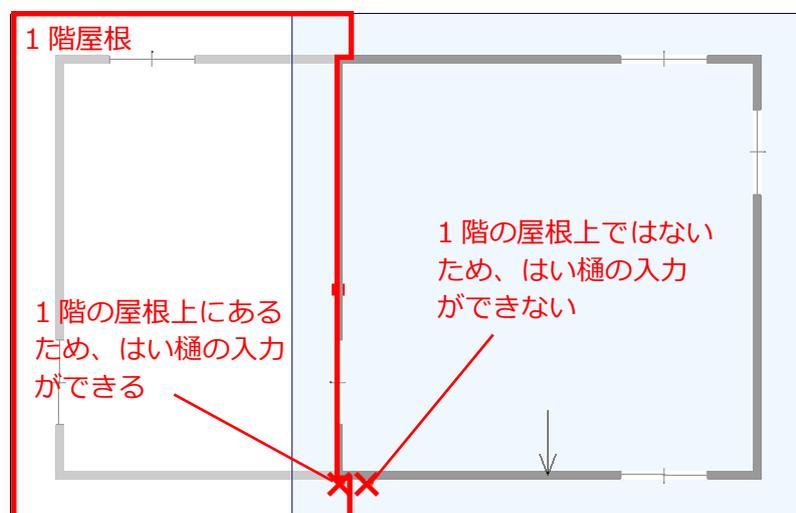


- * 2階の縦樋はグレーで表示されていますがカーソルを合わせるとスナップし、選択できます。
- * [shift]キーを押しながら1階の軒樋上をクリックすると、垂直に配置できます。
- * 2階の縦樋と1階の軒樋を結ぶ黒い線が入力され、はい樋でつながります。
- * (3D パース)や (カラー立面)、 (立面図)にも反映します。



【注意】

はい樋につながる2階の縦樋は1階の屋根上に配置する必要があります。
2階の縦樋が1階の屋根上に無い場合、はい樋の入力時に1階軒樋を認識しないため、はい樋を入力することができません。



【参考】呼び樋自動配置

豎樋、軒樋、落し口を配置すると、 (呼び樋自動配置)で、呼び樋やはい樋を自動で配置できます。複数の呼び樋やはい樋を一括で配置でき、一つ一つ配置する手間を省くことができます。

- *  (呼び樋自動配置)を実行すると「アンドウ・リドウ」情報が破棄され、アンドウで操作を戻すことができなくなりますのでご注意ください。
- * 玄関庇や手動配置した下屋の軒樋には自動配置できません。

【参考】

軒樋と豎樋の接続については、こちらをご覧ください。

[\[1151\] 軒樋と豎樋を繋ぐ方法【屋根伏図】](#)